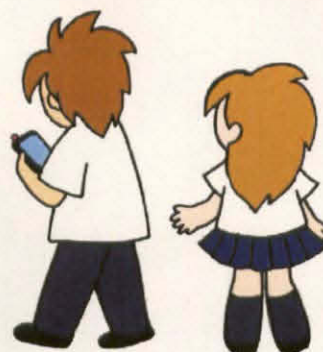


**参加費
無料**

リプロネットみやぎ主催
会員研修会・一般公開



日常化する若者の性行動 いま、分極化・消極化の流れとなつて

～「第7回青少年の性行動全国調査」からみえてくるもの～

日本性教育協会では1974年よりほぼ6年おきに全国の青少年の性行動・性意識についての調査を実施しています。去る3月20日、東京において、2011年に行われた第7回調査の分析をもとに報告会が行われました。今回は、その基調講演を行った片瀬一男東北学院大学教養部教授にお話をうかがいます。

「若者の性行動はこれからどのように変化していくのか」

調査から得られたデータをもとに、若者の性行動の現状とこれからを一緒に考えていきましょう。

講師のご紹介 片瀬一男先生（東北学院大学教養部教授）

1956年生まれ。1983年東北大学大学院文学研究科単位取得中退。

東北大学文学部助手などを経て、現在、東北学院大学教養部教授。

専門は教育社会学、社会意識論。

主著に『ライフイベントの社会学』（世界思想社）

『夢の行方、高校生の教育・職業アスピレーションの変容』

（東北大学出版会）

『道徳意識の社会心理学』（共著・北樹出版）

『社会統計学』（共著・放送大学教育振興会）

「性行動の低年齢化がもつ意味」『「若者の性」白書』（小学館）などがある。



日時 5月30日（木）19:00～20:30

会場 エル・ソーラ仙台・大研修室（仙台駅前アエル28F）

お申し込み：お名前とご連絡先、差し支えなければ年齢や職業をご記入の上、

リプロネットみやぎ事務局あてにEメールかファクスでお申し込みください。

リプロネットみやぎ事務局：E-mail : repro@muraguchikiyo-wclinic.or.jp

FAX : 022 (292) 0167

（緊急連絡先）090-8783-3974（村上）